

第4回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会 会議録

- 1 会議名 第4回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
- 2 日時 平成29年4月27日(木) 午後3時半から午後5時
- 3 会場 東久留米市役所4階 庁議室
- 4 出席委員 石橋委員(副会長)、一木委員、伊藤委員、大坪委員、大山委員、神谷委員、木村委員、田野委員、田村委員、鶴岡委員(会長)、時任委員、栃谷委員、宮下委員、村上委員 以上14名
- 5 欠席委員 稲田委員、井上委員、岡野委員、増田委員 以上4名
- 6 事務局 傳介護福祉課長、遠藤健康課長、廣瀬保険年金課長、森山主査、大川主事、小高主事
- 7 傍聴人 2名
- 8 次第 第4回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
  - (1) 委員委嘱
  - (2) 開会
  - (3) 配布資料の確認
  - (4) 議題
    - 議題1 平成29年度のスケジュールについて
    - 議題2 在宅療養ガイドブックについて
    - 議題3 多職種研修についてのご報告
    - 議題4 その他
  - (5) その他
  - (6) 閉会
- 9 配布資料
  - 【資料1】平成29年度在宅医療・介護連携推進協議会スケジュール(案)
  - 【資料2】東久留米市在宅療養ガイドブック
  - 【資料3】多職種研修会 実施報告
  - 【資料4】平成29年度市民を対象とした在宅療養についての普及啓発活動の企画書
- 10 第4回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の開催
  - (1) 委員委嘱式

(2) 出欠席者等の確認

- ・出席者 14名、欠席者 4名。定足数に達しており会議は成立
- ・傍聴人 1名

(3) 議題 (要点のみ筆記)

① 議題1 平成29年度のスケジュールについて

【会長】 まずは、事務局より今年度の協議会の進め方について提案があるとのことであるのでお願いします。

【事務局】 平成28年度の協議会は、主に「課題の抽出と対応策について検討」というテーマで、3回開催した。地域の課題の抽出のため、在宅医療に携わる様々な専門機関等にアンケート調査を実施し、そこで抽出された課題の対応策として、市民自身が主体的に医療・介護の情報を収集していくきっかけとしてのガイドブックを作成すること、また、専門職同士が引き続き顔の見える関係づくりを行なうことも視野に入れた多職種研修を実施することとした。そこで、平成29年度では、昨年度の取り組みを継続し、よりブラッシュアップしていく為に、8月に実施予定の第5回協議会では、ガイドブックのあり方や活用方法についての検討及び多職種研修の内容等の検討をお願いしたい。特に、ガイドブックの配布対象者、配布方法及び作成方法について検討していきたい。また、多職種研修についても、実施方法等について28年度のやり方を踏襲し、今年度も多職種研修を実施していきたい。その上で、来年2月に開催予定の第6回協議会では29年度の振り返りと30年度に向けて協議する場と位置づけたい。

【会長】 事務局から提案があったスケジュールについて質問や意見があれば伺いたい。

【委員】 特になし。

【会長】 それでは、平成29年度の本協議会については事務局から提案があったスキームで実施していくこととする。

② 議題2 在宅療養ガイドブックについて

【会長】 議題の2についてということであるが、事務局より報告があるとのことであるのでお願いします。

【事務局】 今後のガイドブック作成の流れだが、この後の協議内容として、表紙とタイトルについて、委員からの意見を集約し、表紙については写真で3種類、イラスト2種類に絞り、タイトルについては2つの案から決定していただく。その後、誤字脱字な

どの最終確認である最終校正を経て、5月末の納品となる。部数は3,500部。ガイドブックの配布及び設置については、委員の皆様は納品後配布させていただくとともに、アンケートに協力いただいた事業所、三師会を通じて各医療機関等、事業所協議会に所属する通所、訪問、居宅介護支援、訪問看護事業所、及び保健所に配布していく予定。また、ガイドブックは介護福祉課等の行政窓口や各包括支援センター、在支等にも設置予定。また、6月30日に開催される在宅療養相談窓口主催の在宅療養シンポジウムに参加した市民へ配布する予定。

【会長】 只今の事務局からの報告のなかで依頼されたガイドブックの表紙とタイトルについてご意見をいただきたい。

◎タイトルについて

【委員】 ターミナルの方に限らず広く読んでもらえるよう、「最期まで」という言葉は無い方がよい。

【委員】 「最期」という言葉は、限定的でかつ物々しい印象を受ける。「最期」という言葉を入れるのであれば、ひらがなか漢字にするかも決める必要がある。

【委員】 東久留米市で生まれ育った方からすると、「最期まで」というキーワードがあるとよい。

【委員】 高齢者を対象として配布する場合、「最期まで」はあってもよいが、ひらがなの表記が好ましい。

【委員】 「最期」というキーワードはガン末期の方などが、病院で最期を迎えるのではなく、東久留米市で最期を迎えるという印象を受ける。

【委員】 「最期」という言葉は無い方がよい。重い印象を受けるのと、サブタイトル自体が長くなるのが気になる。

【委員】 ガイドブックの内容が多種多様な内容で「健康維持に努めましょう」等の記載があるが、「最期」という言葉があることで、印象が重くなってしまう恐れがある。

【委員】 在宅療養から、介護と医療の内容だとわかるが、「最期」の言葉があるとよりつながりやすく、ひらがなでの表記が好ましい。

【委員】 ガイドブックが終末期に限らず、元気な時にも含まれる為、「最期まで」は入れない方がよい。だが、もし入れるのならばひらがながよい。

【委員】 「最期まで」は無い方がよい。多様な生き方があり、また、「初めに」やエピソードの中に「最期」というキーワードがあり、自分らしく生きるという事は、最期も含むという事が読み取れる。多くの人に見てもらえるように、最期までを無くし、「自

分らしく生きるために」と表現するのがよい。

【委員】 「最期まで」は重い印象を与える。

【委員】 「最後まで」がある方がよい。あえて、重い印象を与えた方が、読み手に覚悟を決めてもらうという意図が届きやすい。

【副会長】 在宅療養なのだという事を強調するために、「最期まで」という言葉は必要であるが、ひらがなの記載が好ましい。

【会長】 在宅医療を行っている立場から「最期まで」は必要だと感じる。表記はひらがなし自体は丸いものが好ましい。

◎イラストについて

【委員】 医者やケアマネなどの記載があるものだとわかりやすい。

【委員】 東久留米の独自さが出るとよい。

【委員】 福祉のパンフレットはイラストが多くあり、写真にすることで目立つ。

【委員】 家族の形態が多様化している中で、家族の認識が多様化している為、イラストにある家族像は同意や共感しにくい場合がある。東久留米のイメージである自然がある写真が好ましい。

【委員】 イラストは車いすの方になっており、共感しにくく、在宅療養＝車いすというイメージを植え付ける恐れがある。

【委員】 「わが町」のテーマに合致し、療養のイメージではなく生き方をイメージできるものが好ましい。

【委員】 イラストの方が、笑顔があり温かみがあるが、東久留米らしさがでる写真がよい。

【会長】 委員からの意見を基に、ガイドブックの表紙については富士見テラスから見える富士山の写真とし、タイトルについては「東久留米市在宅療養ガイドブック～わが家・わがまち東久留米で、さいごまで自分らしく暮らし続けるために～」とし、ガイドブックの作成については終了とする。

### ③ 議題3 多職種研修についてのご報告

平成29年3月16日に実施した多職種研修のアンケート結果について、資料3を読み上げ事務局より報告。

【会長】 只今の事務局からの報告について何か意見や質問があればお願いしたい。

【副会長】 となりの話し声がうるさい等の意見はなかったか。

【事務局】 アンケートの中では特にそのような意見はなかった。

【委員】 時間が短く進まなかったが、多職種が一堂に会し質問などができる場は有効。

【委員】 ケアプランやサービス担当者会議を知らない方も多くいたが、グループワーク自体は非常に良かった。他のグループからも好評だった。

【副会長】 多職種研修について、今回の総評に併せて、会長が行っている先進的な取組について本協議会にお教え願いたい。

【会長】 多職種が一堂に会し多職種が意見交換を行うのは大変に有意義である。栃木の診療所で行っている「つるカフェ」の紹介をする。東日本大震災で、安否確認を行なうにも情報共有ができず、現場が混乱した経験があり、そこから、常に多職種が連携できるように、カフェ形式で多職種の勉強会「つるカフェ」を毎週開催している。顔の見える関係の先には腹の見える関係として、同じ釜の飯を食べるというテーマから、研修会の前はみんなで同じものを食べてから会を始めている。栃木県ではMCSという無料のアプリを活用し多職種研修を行っているが、一診療所のみが進められても普及しない為、つるカフェの参加者には全員サブリを入れていただき、勉強会を楽しみながら行っている。

【副会長】 「つるカフェ」という先進的な取組は、多くの方々が楽しみながら自主的に行い、堅苦しくない研修会ができるように、東久留米市でも多職種研修を行っていきたい。

### ③ 議題4 その他

在宅療養相談窓口委員より平成29年度市民を対象とした在宅療養についての普及啓発活動として開催されるシンポジウム「この町東久留米で最期まで自分らしく暮らすために あなたが準備することは？（仮題）」について案内。

(4) その他 特になし。

(5) 閉会

【会長】 それでは、これを以って、第4回東久留米市在宅医療・介護連携協議会を終了させていただく。次回については、8月の開催が予定されている。具体的な日程等については、近くなったところで連絡があると思う。委員各位におかれては、今後の会議開催、進行に特段の配慮をいただきたい。

閉会午後4時45分